



2015年3月13日(金)～

3月26日(木)の活動

○ 北陸新幹線出発式

3月14日(土) 金沢市

JR金沢駅コンコースにおいて北陸新幹線出発式が行われ、真鍋JR西日本社長、太田国土交通大臣、馳衆議院議員、谷本石川県知事、山野金沢市長、石川鉄道建設・運輸施設整備機構理事長、永原北経連会長、深山北陸新幹線建設促進石川県民会議会長(北経連副会長)らが参加した。新幹線ホームではテープカットの後、金沢駅長と女優の土屋太鳳さん(NHK朝ドラ「まれ」ヒロイン)の出発合図のもと、一番列車が発出した。(担当:小林)

○ 平成26年度第2回先端科学技術推進委員会

3月24日(木) 金沢市

金沢ニューグランドホテルにおいて、委員会が開催され、水口昭一郎立山科学工業(株)代表取締役社長(委員長)をはじめ12名の委員が出席した。今年度の事業実績・評価の報告の後、次年度の事業活動計画について審議し、産学連携の充実など今後の事業について意見交換した。

委員会終了後、講演会「人工知能・スーパーコンピュータはここまで来た!」を開催し、東京大学医科学研究所ヒゲル解析センター教授 宮野 悟氏より「がんとスーパーコンピュータ」と題して遺伝子情報解析について、日本IBM(株)成長戦略ワトソン担当理事 元木 剛氏より「学習するシステム Watson」と題して人工知能ワトソンの最新動向について講演を行い、企業・団体から約60名が聴講した。(担当:平田)

○ 「観光の6次産業化とASEANとの交流」に関する意見交換会

3月16日(月) 金沢市

金沢商工会議所において、「観光の6次産業化とASEANとの交流」に関する意見交換会が開催された。講師のタイ国家政策顧問の松島大輔氏(金沢市出身)より北陸の観光戦略等についての提言がなされ、活発な意見交換が行われた。自治体や観光連盟をはじめ、旅館・ホテル、大学、運輸、ITなど幅広い分野から34名が参加した。(担当:浅野)

○ コンバートEV研究会

1月8日(木) 金沢市

(一財)北陸産業活性化センターとの共催で今年度第2回研究会を開催した。

今回は、企業・自治体の6名の方々が出席し、研究会活動の総括報告が行われ、次年度の活動について意見交換を実施した。(担当:平田)

○ 平成26年度第4回ロボット研究会・北陸

3月19日(木) 金沢市

金沢都ホテルにおいて、「次世代ロボット研究会・北陸」が開催された。第1部では大学・企業の研究会メンバー16名が出席し、中部経済産業局地域経済部次世代産業課瀬賀課長を招いて「ロボット新戦略のポイントと予算」に関する説明を受け、ロボット関係の助成制度や活動状況について情報交換を行った。第2部では(独)農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター生産システム部長の小林 研氏と中日本高速道路(株)金沢支社 保全・サービス事業部長の河合 朝仁氏を講師に招き「農業ロボットの研究開発の動向」および「高速道路における維持管理の現状と課題」についてそれぞれ講演いただき、約60名が聴講した。(担当:平田)

○ 福井県並行在来線対策協議会

3月18日(水) 福井市

福井県織協会館において、第3回「福井県並行在来線対策協議会」が開催され、西川福井県知事、沿線各自治体首長、各団体代表、角崎北経連理事事務局長など、およそ20名が出席した。

西川知事は挨拶の中で、「北陸新幹線敦賀開業の3年前倒しが決定され、並行在来線の開業も3年前倒しとなった。開業したばかりの富山・石川の事例を参考に、福井県の事情を考慮して、利便性を第一に検討していきたい。」と述べた。

事務局から、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画、及び開業に向けたスケジュールについて説明があり、承認された。(担当:小林)

○ 北陸圏広域地方計画協議会

3月25日(金) 富山市

ゴルフアート富山において、「第3回北陸圏広域地方計画協議会」が開催され、佐々木国土交通審議官、舘大臣官房審議官、野田北陸地方整備局長、徳永北陸信越運輸局長、星北陸総合通信局長、永原北経連会長など、およそ30名が出席した。

協議会長を務める永原会長は挨拶で、「これからの北陸は日本の中で重要な役割を担い、世界に向けて飛躍していくことを期待している」と述べた。

事務局より、「どこよりも輝き、幸せな暮らしが実現できる新・北陸」「日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する新・北陸」を将来像とする新たな北陸圏広域地方計画(案)骨子について説明があり、その後、意見交換が行われた。新たな北陸圏広域地方計画は、今後有識者懇談会や協議会を何度か経たうえ、平成27年度末に大臣決定される予定。(担当:小林)